

東村山市民新聞



196号
定期購読料
一部 150円



一人会派排除議案に対する反対討論をめぐり大騒ぎ

「秘密会」を開き、朝木議員の発言を削除

戦時中なみの言論統制



12月定例会初日本会議では、元立憲民主党前議員、奥谷浩一氏が提出した「一人会派を認めるな」という内容の陳情を受け、自公の議員から議会基本条例を変更し、これまで認めていた一人会派を認めないとする「議員提出議案」が議案に提出された。

この議案の提出にいたるまでの前号既報の通りだが、この政治的な陳情をあたかも一般市民からの陳情であり、市民の意向をうけての条例改正であるかのような説明があり、また当事者である一人会派を排除して議論が進められたことから、朝木議員が以下の内容の反対討論をしたところ、与党会派は大騒ぎし（特に佐藤まさたか議員は大興奮）、議会は一時中断された。

朝木直子議員の 反対討論とは

朝木議員は、「一人会派を認めるな」という陳情を提出した「市民」とは、前回の選挙で落選した立憲民主党・奥谷浩一前議員であり、この陳情が提出された日付は、同党新人議員の藤田まさみ議員が、同党立憲民主党の上町三子議員と別れて一人会派を結成した翌営業日であること、そして、奥谷前議員と上町議員は改選前、二人で会派を組み、公費で年に何度も泊りがけの視察旅行に出かけるほど親しいこと、これらの事実から、議会内では与野党問わず、多くの議員が「藤田議員が可哀想だ、いじめではないか?」「えげつない」等々の陰口を言っていたにも関わらず、この陳情を採択したこと、少数派を認めないということ、多様性の否定であること、等の内容を述べて反対の討論とした。（全文は朝木直子ウェブサイトのブログで公表されている。）

「秘密会」まで開催

すると与党議員らは「品位がない」「市民の個人名（奥谷浩一前議員のこと）を出すのは問題だ」などと大騒ぎをはじめ、議会は一時中断。挙句の果てには、後日、議会運営委員会のメンバーで、「秘密会」という、議員ですら傍聴できず、記録も非公開、会議の内容を漏らした議員は懲罰対象、という前代未聞の会議を開き、当事者である朝木議員をも排除して、「朝木議員の発言削除について」の会議を開き、結果、熊木議長は朝木議員に、どの部分をどのような理由で削除したのか、全く知らせずに、会議録や動画配信から朝木議員の発言の一部を勝手に削除した。（2面に続く）

インサイド レポート

市議会は 暇人の 集まりか?

朝木直子

与党（自民・公明、佐藤まさたか各議員）は私の発言を議会の記録から削除するべきだと大騒ぎをして、議会を中断させただけではなく、別日に長時間のブラック会議を開いて私の発言を記録から削除しようとする。一番の理由は、議案の反対討論の中で、私が奥谷前議員と上町三子議員が、公務活動費で年に何度も泊りがけの視察旅行に出かけていたと発言したからのようです。彼らは、「品位がない」「家族が気の毒だ」等々の罵声を私に浴びせましたが、問題の本質とは全く関係のない幼稚な話。また、東村山市の議員は「公人」という意味すらわかっていない様子。

結局のところ、事実を発言した私を「品位がない」と攻撃してくるのは、公務活動費に対する市民の風当たりが強くなるのが嫌だというのが本音です。市民のコロナ禍が深刻になる中、こんなことに騒ぎ立てて何時間もの時間を使ってる議員達。よっぽどの暇人?

PCR検査

税金を投入し、清瀬市と東村山市の二市合同で設置されたPCR検査センターだが、開設した10月22日から12月1日まで利用した東村山市民はたったの8人。（その後の利用者数は非公表?）

週に二日しか稼働しないPCR検査センターって?

税金を投入し、清瀬市と東村山市の二市合同で設置されたPCR検査センターだが、開設した10月22日から12月1日まで利用した東村山市民はたったの8人。（その後の利用者数は非公表?）

40日で利用者は8人!

このPCR検査センターでコロナ検査を受けるには、まず医者や診断後、必要があれば予約してから検査センターに向くことになるのだが、検査センターは週二日（火・木）、各二時間しか稼働していないため、木曜の夕方に「コロナ」と診断されても、翌週火曜日の午後まで検査を待たなければならず、しかも検査センターは清瀬市。よって、多くの市民は市内民間

が増加する中で閑古鳥が鳴く結果となった。このPCR検査センターでコロナ検査を受けるには、まず医者や診断後、必要があれば予約してから検査センターに向くことになるのだが、検査センターは週二日（火・木）、各二時間しか稼働していないため、木曜の夕方に「コロナ」と診断されても、翌週火曜日の午後まで検査を待たなければならず、しかも検査センターは清瀬市。よって、多くの市民は市内民間の医療機関で検査をしているようだが、この医療機関でPCR検査が受けられるのか、市は公表していない。理由は「わからないから」。

深刻化するコロナ感染者増加で、オリンピックごろの話ではなくなりそうだが、1月1日号の市報では、渡部市長はオリンピック選手との対談写真で「満悦」。目立ちたがり屋で有名人大好きな市長だが、ここまで能天気だと呆れるしかない。

結局何を削除したか？

(1面からの続き)

記録から削除されたのは、陳情提出者である「奥谷浩」という前議員の個人名と、奥谷・上町両名が非常に親しかったことは「議会関係者全員周知の事実だ」ということだ。

奥谷前議員が陳情の提出者であることは、議会のHPで個人名を含め公表されており、また「議会関係者全員周知の事実」という文言削除も、自分たちの保身にすぎないことから、「秘密会」などと言いつつ前代未聞のブラック会議まで開催して削除した意味はまったく不明。

そして「品位がない」と与党議員たちが大騒ぎした「二人で泊りがけの視察旅行」の部分は公費による公人の行

「コロナ禍真っ只中の12月議会」では

動であり、何よりも事実であることから削除できなかったようだった。

新型コロナウイルス感染者増加で、市民の不安や経済的打撃が深刻となる中、議員たちが12月議会でも自発的にやったことは、議員の「政務活動費」をより使いやすくしようとか引き上げて欲しいという話と、一人会派を排除する議案の提出。

そして朝木議員の発言がけしからんと議案を中断させ、さらに別の日に「秘密会」まで開いて発言を記録から削除。朝木議員が「議員報酬のカット」を提案しても拒否して、「コロナ禍の最中の議会はこの有様。納税者市民はやってられない。」

★納得いかないコーナー

① 飲食店です。昨年4月から

営業収支ははさんさんです。

ももとはウイルスが原因なので、誰のせいでも無いのでしょうが、GOTOキャンペーンなどうちは恩恵はなく、それより、再び感染拡大となり、今後営業自粛や外出自粛となってしまったことに對して、誰も責任をとらないことに腹が立ちます。給付金ではなく、借金で生き延びているので、そろそろ店も限界

です。

② 暇とお金のある人はGOTO

キャンペーンで税金を使っで旅行を楽しんで、余裕がない人は働きついで税金を納める。どう考えても納得できません。(恩多町 施設職員)

③ 介護施設で働いています

が、消毒液などがとても少なく不安です。施設に言ったのですが、改善されません。どこに相談したらいいのかもわかりません。(匿名)

タウンニュース

市民目線の議会報告会を開催

「東村山を変える超党派議員連盟」って？



東村山市議会が「開かれた議会」と大宣伝している「議会報告会」。朝木議員を排除した「広報広聴委員会(公明党・渡辺英子委員長)」主導で、原則年に8回(各定例会につき2回ずつ)開催している。しかし、内容は「議員個人の考えを述べてはいけない」という原則のもと、賛否の別れた議案について、議員同士の議論も全くなし、議会で決まったこと(つまりは過半数である自公議員が出した結論)のみを報告するだけの報告会。当然参加者からは不評の声が多く、その結果、関係者をかき集めても議員の数より少ない数の参加者しか集まらないような状況だ。(朝木議員は元々この報告会には批判的で、一度だけ参加し、以後

不参加) そんな中、東村山市議会内での野党共闘議員が中心となり、「東村山を変える超党派議員連盟」を立ち上げ、市民目線での議会報告会を開催。今年度から、議会ごとに開催しており、参加者も50名と70名と、大盛況。議員連盟の議員は、共産党(山口みよ、渡辺みほ)、佐藤直子、浅見みどり、山田たか子、立憲民主党(藤田まさみ)、草の根市民クラブ(朝木直子)の7名。改選後、与党の数が増え、議会運営は到底民主的とは言えない状況となったことから、議会内での自公議員の暴挙と彼らに服従し言いなりになっている議員達と闘い、東村山市議会での野党共闘を目指す。

朝木直子 VOICE

朝木直子略歴

▽諏訪町出身、化成小・二中、都立高武蔵・慶應大卒/会社勤務/高齢者団体役員/母・明代議員殺害事件後、遺志を継ぐ/地元FM局で番組作り/1999年から市議、現在6期目(草の根市民クラブ)

▶ 私は議員報酬のお手盛り値上げに反対し、任期中のお手盛り値上げおよび市職員より多いボーナス減額提案分は受け取り拒否しています。



2020年12月時点での議員報酬返上額合計 577万3,410円

「一面既報の通り、私の本会議での議会基本条例を一人会派を認めない条例に変更する「議員提出議案」の反対討論で、議場は大騒ぎとなり、議会運営委員会、秘密会を開催し、その結果、私の発言の一部は記録から削除されました。議会における「秘密会」とは、本来は公開で行うべき会議について、どうしても公開できない事情(テロなどの関連や逮捕事案の情報等)があるときに、やむを得ず、会議も記録も非公開で開かれる会議ですが、めったに開かれる会議ではありません。

「一面既報の通り、私の本会議での議会基本条例にした理由は、個人名が出ている奥谷前議員に訴えられること、私に訴えられることを口実にしたようですが、名誉毀損の成立要件も知らない議員たちが、「名誉毀損で訴えられる」と騒ぎたてるので、話になりません。結局は市民や私に聞かせたくない謀議だったのだと推察できます。「議会改革」だとか「開かれた議会」を標榜する東村山市議会、まるでペンです。



朝木直子ウェブサイト

編集後記

発行人編集長 矢野ほづみ

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言発出という事態となりました。経済優先で、国がGOTOキャンペーンなどを行ったのですから、国民の気が緩むのは当たり前です。結局はこのコロナ禍でも悲惨な目にあうのは零細企業や非正規雇用の人々です。報酬を満額もらって、コロナ禍も他人事のように、朝木議員の発言取消しや自分たちの報酬や政務活動費の議論に時間を費消している東村山市の議員たちのレベルの低さにはあきれられるばかりです。志村けんさんの死を悼むのなら、東村山市でのコロナ禍対策に全力を尽くすべきです。